

平成 31 年 2 月

児童発達支援事業所 ガイドラインによる自己評価
結果・改善点・公表方法等に関する報告

社会福祉法人こぐま福祉会
児童発達支援事業所 みんなの館

【アンケートの実施】

- ・保護者アンケート調査 : 回収率 100% (4 人配布中 4 人回収)
- ・職員自己評価 : 職員 100% (4 人中 4 人回収)

【各項目に関する回答集計データ】

項目	調査からの読み取り	改善目標・工夫している点
環境・体制整備 業務改善	保護者は概ね適切と感じておられます。 保護者より、スペースに関しては、「十分走ったりするスペースがある」「体育館もあり、たくさん遊べている」	同伴通園を行なっている当事業所としては今後も保護者と一緒に療育を経験していく中で、保護者との連携や意向等を把握し業務改善につなげていきます。 スペース等につきましては十分なスペースの確保ができています。
適切な支援の提供	保護者は概ね適切と感じておられます。 職員は、適切な支援の提供ができていると概ね感じており、職員間で打ち合わせをして支援の内容や役割分担について確認するという内容ではできていると感じています。	今後も満足いただけるように適切な支援の提供に取り組んでいきます。 今後も個別での交流や就園の相談にのっていきます。
保護者への説明等	保護者は、個別で対応していることもあり、父母の会の活動支援や保護者会の情報が入りにくいと感じています。	今後、地域の保護者間の活動支援の案内や事業所を利用されている保護者同士が話し合える場面提供できるよう検討していきます。
非常時の対応	保護者は、災害発生についての訓練等が行われていることがわからないと感じておられます。	事業所では、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定しています。今後、より周知に取り組んでいきます。非常災害の発生に備えての避難、救出、その他必要な訓練は毎月行なっており、今後も継続して取り組んでいきます。
満足度	保護者からは、楽しみにしていると回答あり、満足していると感じておられます。	今後も利用者・保護者に寄り添い、利用者の満足度をより上げることに取り組んでいきます。

【まとめ】

児童発達支援事業所 みんなの館は、年齢、状況に合わせて保護者同伴通園での個別療育を行っています。

同伴通園の保護者支援の中で、保護者との連携の必要性を感じて今まで取り組んでまいりました。今回のアンケート調査より、個別で対応していることで個々に応じた必要な説明やアドバイスができているとの評価をいただきました。人数が少ないこともあり、なかなか保護者同士のつながりができていないこともあります。今後は保護者同士のつながりを深めていきたいと考えます。また、毎月災害訓練等を行っていますが、保護者への周知ができていないという評価をいただき、今後、連絡の徹底等について検討していきたいと考えます。

職員間では、事業所の取り組みを見直し、児童発達支援ガイドラインに沿って職員間の研修および福祉会研修等での職員の研鑽を進めていきます。利用者の満足にもつながった子ども一人一人に合った支援を行ない、今後も継続して療育に取り組んでいきたいと考えております。

今後とも皆さまに満足いただける事業所を目指して進めてまいります。